

(様式第7号)

平成29年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市商工観光センター		
指定管理者	舞鶴商工会議所		
設置目的	商工業、観光等地域産業の振興を図り、もって地域の活性化に寄与するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
所管課	産業振興部観光まちづくり室観光商業課		

2 利用状況等の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	年度
利用者数(人)	44,221	38,301	36,089	37,847	
利用料金(円)	7,878,835	7,604,173	6,851,560	7,909,118	
指定管理料(円)	65,594,642	67,035,300	65,567,213	65,594,029	

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
来館者数	175,000人	148,750人	121,149人	81%
施設利用人数	48,000人	40,800人	37,847人	93%
施設利用件数	1,770件	1,681件	1,593件	95%
交流事業参加人数	—	93人	141人	152%
観光ガイド養成講座受講者数	—	29人	34人	117%
パソコン講座受講者数	—	77人	47人	61%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	7,909,118	人件費	12,274,384
指定管理料	65,594,029	維持管理費	58,479,329
事業収入	653,500	事業費	1,651,475
その他	4,425,204	その他	6,176,663
合計	78,581,851	合計	78,581,851
差額			0

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	来館者数や利用人数は目標に達成していないものの、昨年度よりは増加がみられ、交流事業参加人数は目標を大きく上回った。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	天文写真展や夏休み子ども向けミニ水槽づくりを行うなど、観光・商工業の情報発信機能を見据えた活動が実施された。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	事業者への「まいづる逸品づくり塾」事業案内など、本来の商工業事業の展開に資する活動が行われた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	市指定事業、自主事業ともに、計画どおり実施された。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	海自カレー事業の参画や、1階のカフェ・ふれあい水槽の閉鎖した空きスペースをうまく活用して利用者の増加を促進出来ていた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	満足度アンケートによると、利用者は概ね満足を得ている結果となった。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	施設の満足度アンケートや各事業の実施後にアンケートにより意見を聴取するなど、意見・要望の把握に努められた。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	特に要望・苦情等はなかったが、アンケートを実施し、幅広く意見・要望を聴取する等、利用しやすいセンターになるよう努められた。
(3) 管理運営の効率性		

経費の節減が図られたか	○	節電や照明のLED機器への交換など、電気使用量の削減に努めるとともに、委託費等についても内容を精査し、経費の節減に努められた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	内容を精査し、経費の節減に努められた。
収入増加のための取組が行われたか	○	1階フロアの展示機能拡充や土産品の充実等が図られた。又、空きスペースを活用した来館者増加対策の成果も見られた。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	適切な人員配置に努められた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	適切に行われている。
施設の平等な利用が行われたか	○	平等な利用が行われている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に管理されている。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われている。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に処理されている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	センター管理業務仕様書に基づき、適正に管理されている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に管理されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	避難訓練を実施されるとともに、館内での犯罪や事故発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、「危機管理マニュアル」を作成されている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に管理されている。
(5) その他コメント		
サービス向上		各職員が美化意識をもち、館内・周辺環境の衛生環境維持に努めた。大規模コンベンション機能を持つ施設での観光情報発信により顧客の満足度向上に努めた。顧客満足度アンケートにより、より良いサービス提供に努め、リピーター確保に取り組んだ。
経費削減		節電や照明のLED機器への交換など、電気使用量の削減に努めるとともに、委託費等についても内容を精査し、経費の節減に努められた。
施設の維持・管理		安全性や経済性、衛生環境や周辺の美化等々に特に注意し、利用者、来館者への印象を損なわないように努められた。施設や設備、専用駐車場に損傷箇所があった場合は、市と協議の上、迅速に対応されている。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.33点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	1階スペースの有効利用を図られた(観光スポット等)。 収支が同額となっており、実態が分からないので、実際の収支が分かる資料を作成されたい。	

《参考》 過年度の評価点

平成26年度	平成27年度	平成28年度	年度	平均
3.2点	3点	3点		3.06点